

大麦 免疫効果確認へ

兵庫大とJA兵庫南が被験者募集

加工食品で臨床試験



内田亨教授

兵庫大（加古川市平岡町

新在家）とJA兵庫南（本

店・同市加古川町寺家町）

は、東播磨特産の大麦を使

って、免疫上昇効果などを

調べる臨床試験を行う。加

工食品を一定期間食べても

らい、各種データを測定す

るもので、被験者を募集し

ている。

大麦は水溶性食物繊維

「βグルカン」が豊富で、

血糖値の抑制やコレステロ

ール値の低減が期待できる

とされる。

今回の臨床試験は8週

間、同JAが開発した大麦

加工食品「大麦粉」50gが

含まれたパンを1日1回食

べてもらい、唾液中のIg

A（免疫グロブリンA）量

を調べるほか、インボディ

（体組成計）で内臓脂肪や

体脂肪なども測定する。

同JA職員や兵庫大生に

参加を呼びかけているが、

各年代のデータが必要で、

なるべく多くのサンプルを

獲得しなければならぬため、被験者を公募することにした。18歳以上の健康に

問題のない人が対象。10月

1日に第1回、12月3日に

第2回測定がある。

研究チームのリーダー

で、兵庫大健康科学部の内

田亨教授（臨床病態学）

は「免疫上昇を裏付けるこ

とができれば」と話す。体

重や内臓脂肪の抑制効果も

期待できるといふ。

8月20日午後1時から兵

庫大5号館で説明会を開く

（オンライン参加も可能）。

試験参加者には謝礼として
大麦加工品を提供する。説

明会はウェブサイトにQR
コードから申し込む。問
い合わせはメール（hurai
mane@gmail.com）へ。

（増井哲夫）